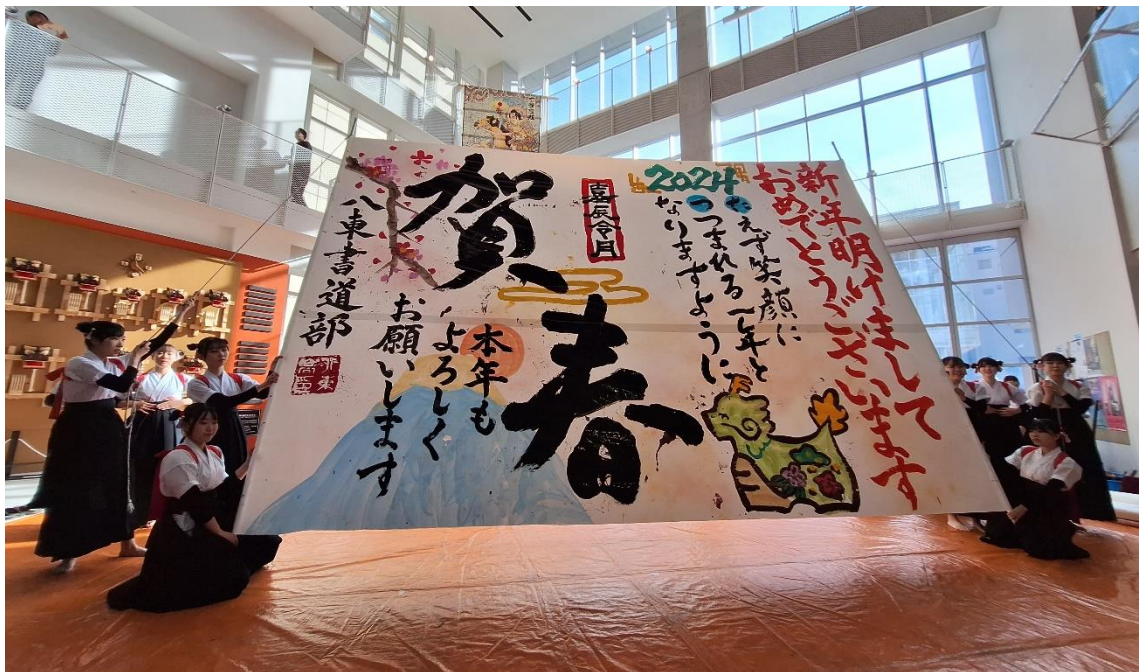


みなさま、明けましておめでとうございます☺

令和6年1月2日（火）にまちなかポータルミュージアム「はっち」にて、恒例のイベント「はっちのお正月」が開催されました。

オープニングとして和太鼓が披露され、続いて八東と八高の書道部によるパフォーマンスを披露しました。八東は1, 2年混合の2チームに分かれ、まずは、Aチームが『賀春』をテーマにハッピーなダンスで会場を盛り上げました。

#### 【Aチームのパフォーマンス】



一方、B チームは今年の干支に合わせて、龍が突如出現し躍動する様子をダンスで表現し、観客を驚かせるパフォーマンスを行いました。

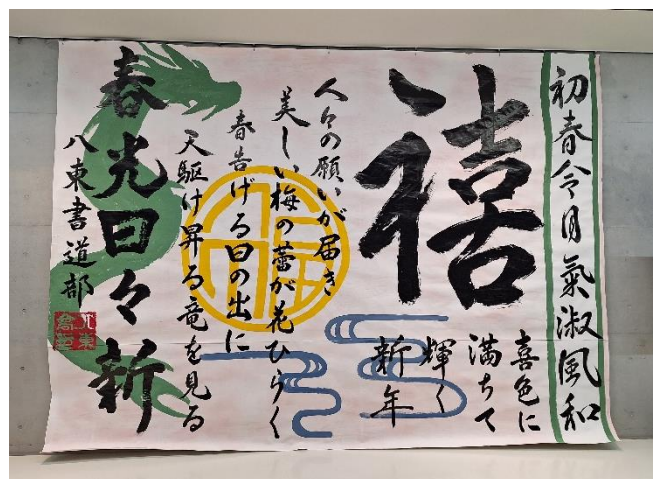
【Bチームのパフォーマンス】



【Aチームの展示用作品】



【Bチームの展示作品】



元旦から能登地方で大きな地震が発生し、辛いことから新年が始まりましたが、今年度も八東書道部は、自分たちにできることに精一杯取り組み、心を込めて書を書くことで地域のみさなまに元気を届けることができるように頑張ります。これからもよろしくお願いします。

10月22日(日)はちのへホコテンにて、書道部1年生のイベントが開催されました。

風は強かったものの、お天気に恵まれ大勢の方にご来場いただきました。

第1部はクイズ大会です。

甲骨文字を示して、何を表しているかを会場に来たお客様に当てていただく企画です。

小さいお子様から、ご高齢の方までたくさんの方が参加され楽しんでいただきました。



第2部は書道パフォーマンスです。多くの市民が交流する歩行者天国をイメージして

「愛縁、希縁」をテーマに明るくポップな雰囲気の商品を作りました。これからも地域に支

えられて八東高があることを忘れずに活動していきます。応援よろしくお願ひします。

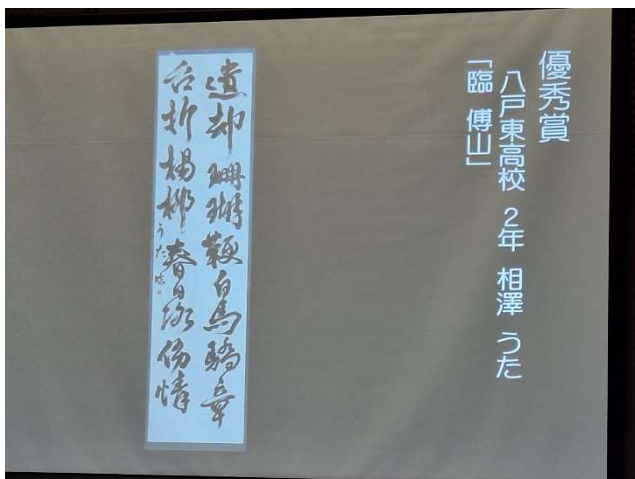


第44回青森県高等学校総合文化委細書道部門が10月13日(金)～15日(日)の3日間、八戸市美術館にて開催されました。

13日(金)に行われた開会式では、本校書道部2年生が司会および進行を担当しました。代表生徒挨拶では、本校部長の土佐美陽さんが①県内各地から集まった高校生の作品を見て互いに高め合いたいこと、②日頃、書道ができること、および自分たちを支えてくれている人々への感謝、③これからも未来へ向けて書道を愛好していきたい、と3つのことを述べました。多くの先生方にお褒めの言葉を頂き、審査員の土橋靖子先生も講評の際、挨拶がすばらしかった、と感動されていました。



さて、作品ですが、本校からは、相澤うたさんが優秀賞に、村上朋花さんが優良賞に選ばれました。残念ながら、次年度の全国高総文への出品とはなりませんでしたが、それぞれ練習を重ねたことが評価につながったのだと思います。審査員の先生のお話にありましたが、書の世界は奥深く、高校生の書は、富士山登山に例えると、装備を調べてどのルートで登山を始めようか、と考えている辺りだそうです。これからの長い人生、部長が言ったとおり、書を愛好していく上で、今回の高総文へ出品した作品を始まりとして、これからどのような書を書いていくのか、これからの部員たちの成長が楽しみです。



講評会では最優秀賞、優秀賞の作品について、審査員の先生から直接、講評をいただきました。大変、名誉なことです。

ギャラリーでは、今年度の全国総高文祭に青森県から出品された5作品が展示されました。本校3年生の田澤さん、立目さんの作品もあり、堂々とした雰囲気でした。さらには、各校からパフォーマンスの作品も寄せられ、本校からは、2年生が先日開催された県高総文祭開会式で披露した作品を、1年生は(株)イオン主催の第3回高等学校書道パフォーマンスグランプリで東北ブロック2位に入賞した作品を展示しました。



本校3年生の  
全国へ出品した2作品を  
眺める本校2年生。  
勉強になります。



開祭式で披露した2年生の  
作品。  
金を工夫して使いました。  
キラキラです☆



イオンのパフォーマンスグラ  
ンプリ大会で入賞した1年生  
の作品。初めての大舞台で経験  
を積みました。背景がきれいに  
出来ました。

去る10月6日(金)、「開こう 明日への扉 築こう 未来のカタチ」のテーマのもと、第44回県高総文祭が開幕しました。4年ぶりに一般公開された開祭式が八戸市公会堂で行われ、第2部のアトラクションでは、本校の書道部2年生が書道パフォーマンスを披露しました。今回の作品のテーマは、各部門との「絆」および世代間の「絆」を縦と横の繋がりとして捉えて「絆ぐ(つなぐ)」と掲げました。また、文化を「創造性」「個性」「協調性」「継承」の4つのキーワードで捉え、4色の衣装で表現しました。



県高総文祭は、4週にわたり市内各会場で18部門の大会・展示が開催される文化部の県大会です。優秀作品は来年の全国高総文祭に出品されます。楽しみですね。この機会に各部門に足を運び、高校生の文化部の日頃の頑張りを是非ご覧ください。

書道部門は10月13日(木)～15日(日)八戸市美術館で開催されます。ご来場お待ちしております。

8月3日(木)に本校の「中学生体験入学」が開催されました。今年度は、午前・午後の2部に分かれ、1日での開催でした。気温が朝から30°Cを越える中、来校された中学生の、みなさん、保護者・引率の先生方、本当にありがとうございました。書道部は、1年生と2年生のチームに分かれて、2回のパフォーマンスを部室棟前の広場で披露しました。

1年生は春に買ったばかりの道着と袴で初々しい姿。昨年まで中学生だった自分たちを思い出して、受験生に向けて爽やかなエールを送るパフォーマンスでした。



2年生は、弱い自分に打ち勝って己を貫け、という力強いメッセージを送るパフォーマンスでした。



部員は中学生のみなさんに、エールと書道の楽しさを伝えたい思いで頑張りました。

来年、八戸東高校でお待ちしています(^\_^)/!

去る7月23日(日)に、愛媛県 四国中央市 伊予三島運動公園体育館にて、第16回全国高等学校書道パフォーマンス選手権大会が開催されました。本校は2大会ぶり7回目の出場でした。この大会は、地元の愛媛県立三島高等学校書道部が「書道でまちを盛り上げたい！」との思いから、地域のイベントなどで大きな紙に歌詞などを揮毫したことが始まりでした。第1回大会は平成20年に、「四国中央市紙まつり」のイベントの一つとして商店街の一角で開催され、出場校はわずか3校。観覧者は300人ほどでした。それが、いまや毎年100校を超える参加校があり、全国の高校生にとって夢の舞台と言われるほどのイベントとなりました。

今年度、北海道・東北ブロックには10校出場し、本校は予選2位通過での出場でした。午前は各地区2位通過の学校が、午後は1位通過の学校の演技するプログラムで、本校は8番目の演技でした。前日のリハーサルや練習では、猛暑の中、限られた時間とスペースでなかなか自分たちらしい演技ができず部員たちは焦っていました。他校の練習の大きな声が聞こえ、キビキビとした揃った演技が目に入る度に、部員たちの焦りと疲労は高まりました。普段と違う状況で、いかに、「自分たちらしい演技」をすることが大変かを知ったのでした。

本番当日、開会式の後、出番まで控え室で準備に追われ、誘導されて待機通路を進み、出番前控え室に入った後、最後の合わせがありました。ほんのわずかな時間ですが、防音のために閉めきった暑苦しい空間の中で、本番の衣装に身を包んだ部員たちの最後のリハです。一番気になっていた斜めのラインをやり直し、さあ、いよいよ時間…となったラストの1回、きれいに揃ったのです。「いける。」胸がざわつきました。部員みな表情が変わりました。いざ、出陣。あとはやりきるだけです。

熱気にあふれた満員の会場に堂々と入場し、演技が始まりました。撮影しながら不覚にも手が震え、涙があふれてきました。これほどまでに「自分たちらしい、八東生らしい、しなやかで美しい演技」をすることができるなんて、と感動でいっぱいでした。本番でやりたかったことを120%できた部員を誇りに思います。今年度はどの学校もレベルが高く、特に午後の部の1位通過の学校はさらに素晴らしく独創性にあふれていました。時代とともに審査



の基準も変化することを実感しました。残念ながら入賞はできませんでしたが、部員たちは自分たちが信じてきた「八東らしいパフォーマンス」をやりきれた達成感が強い分、悔しい気持ちも同じように強かったと思います。しかし、この経験は今後の人生で、どんな困難なことに出くわしても部員たちを支えてくれる大きな力になると信じています。これまで、無償でパフォーマンス紙を提供してくださり、支え続けてくださった三菱製紙八戸支社の方々、今回の遠征に援助してくださった湊病院のみなさま、保護者、地域のみなさま、大変ありがとうございました。これからも、八東書道部をよろしくお願いします。〈文 書道部顧問〉



出発です！



列車の中は和やかです。食欲旺盛なガールズです♡



朝ご飯もバッチリです。



2年生も元気です。



会場にきました。わくわくします♪リハです。



選手控え室に向かう廊下では、パネルがお出迎え。気持ちが引き締まります。



めちゃくちゃ暑い中、字練です。ファイト！



今年、制作されたモニュメントが初披露。



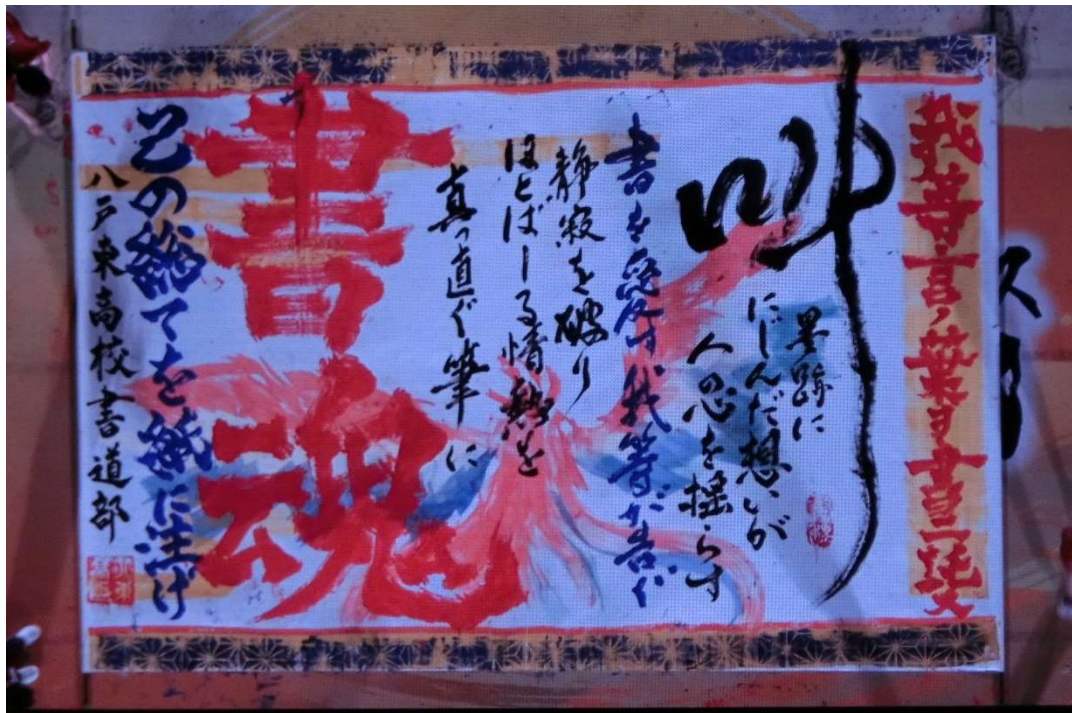
いよいよ入場準備、待機通路にて。



円陣を組んで気持ちを一つにします。



いざ、入場！みんないい顔です。



天井のカメラからの映像です。最高の作品ができました！



インタビューでは、達成感からか笑顔と涙でいっぱいでした。3年間ともに頑張ってきた仲間との最後のパフォーマンスが終了し、感極まっています。



さあ、急いでお片付けです。



会心の「想」。書いた人、後で支えた人。

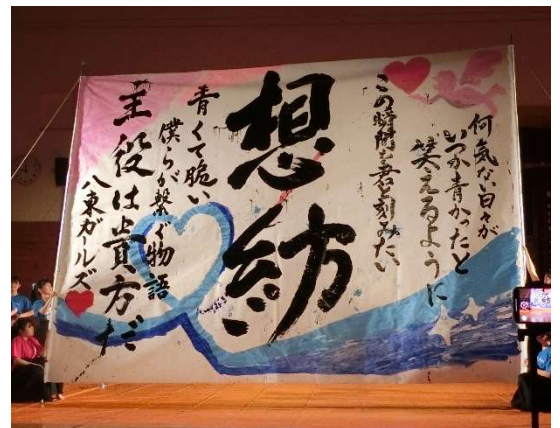
2人の想いが一つになりました。

7月14日（金）、15日（土）の2日間にわたり、今年度の八東祭が開催されました。

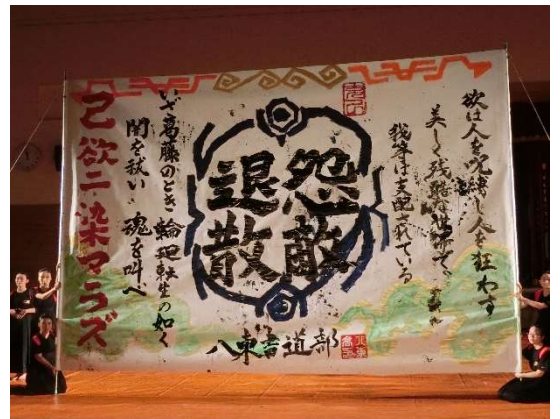
14日（金）には1・2年生の混合2チームが、15日（土）には3年生がパフォーマンスを披露しました。

1年生は今回のパフォーマンスが人前で初披露ということもあり、みな緊張していましたが、2年生のサポートのもと何とか無事に終了しました。Aチームは青春ドラマ風のカラフルな明るい作品、Bチームは黒と赤を基調とした力強い作品で、それぞれのテーマをイメージした衣装やメイク、ダンスも印象的でした。

A チーム  
の作品



B チーム  
の作品



3年生は23日（日）に控えている全国高等学校書道パフォーマンス選手権大会で披露する予定の作品を、一般の来場者および3年生の希望者の前で披露しました。直接、愛媛県の会場まで足を運ぶことができない保護者や地域の方々に、これまで支えてくださったことへの感謝の気持ちをこめて、是非披露したいという3年生の思いから、本戦と同じ作品にしました。これから本戦ということで、HPにUPすることはできませんが、よろしければ、南海放送の配信をご利用いただき、ご覧ください。 これからも、応援よろしくお願ひします。

4月10日（月） 本校第一体育館にて新入生対象の部活動紹介が行われました。

書道部は2年生が歓迎のパフォーマンスを行いました。

1年生をお出迎えするために2～3月にかけて一生懸命準備したパフォーマンスは、本人たちも楽しそうにダンスをし、のびのびと字を書いて、1年間の成長を感じさせるものでした。



新たな部員が加わることで書道部にさらなる活気が出ると思います。

3年生は甲子園予選に向けてラストスパート、気合いの入った活動が続いています。

これからも、応援よろしくをお願いします。